

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することができます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

amadana

Manual

取扱説明書

electric kettle

電気ケトル

AT-TP11



index

安全上のご注意	03
使用上の注意とお願い	10
各部の名称とはたらき	12
使いかた	16
お手入れのしかた	20
こんなときは	24
アフターサービス	28
仕様	29
保証書	31

家庭用

- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。
- この製品は、日本国内専用です。海外では使用できません。

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。



絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。
図の中に具体的な内容が表示されることがあります。



必ず実行していただく「強制」の内容です。
図の中に具体的な内容が表示されることがあります。

警告



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わない。

発火・感電・けがの原因になります。

修理はお買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にご相談ください。



水入れ禁止

製品を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。

けがをする恐れがあり危険です。



乳幼児などに電源ベース接続部をなめさせない。

感電やけがの原因になります。



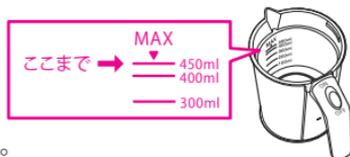
使用中、ふきんなどで蒸気口や湯注ぎ口などをふさがない。

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



満水目盛以上の水を入れない。

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



水以外(牛乳、酒、お茶類)のものを入れたり、
氷を入れて保冷用として使わない。

お茶・牛乳・酒・インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、
やけどの恐れがあります。焦げつき・腐食・故障の原因になります。
氷を入れたり、冷たい水を入れたままにしておくこと結露が生じ、感電・故障の原因になります。



コンセント
の単独使用

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
また、火災・感電の原因になります。



傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない。

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



製品を転倒させない。

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、
電子レンジなどで使わない。

火災の原因になります。



プラグを
持って抜く

異常が発生した場合、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを
コンセントから抜く。

感電、発火の原因になります。



本体や電源ベースを落としたり、衝撃を加えない。

過熱や異常動作・感電の原因になります。

警告 つづき

-  電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。
また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。
電源コードが破損し、感電・漏電火災の原因になります。
-  電源ベース中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだりしない。
電源プラグに金属やほこりなどのゴミを付着させたりしない。
感電・ショート・発火の原因になります。
-  ぬれ手
禁止
電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。
感電の原因になります。
-  ふたは勢いよく閉めない。
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

注意

-  専用の電源ベース以外は使用しない。
また、電源ベースを他の機器などに使用しない。
発火・故障などの原因になります。
-  ふたを開けたまま湯沸かししない。
沸とうしても電源が切れません。
-  湯沸かし中はふたを開けたり、湯や水を注いだり、移動しない。
湯が飛び散り、やけどの原因になります。
-  本体をにおいが強いもののそばで使用・保管しない。
においが移ることがあります。
-  不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しない。
火災の原因になります。
-  水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因になります。
-  壁や家具の近くで使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。

注意 つづき



直射日光が長時間あたる場所で使わない。
故障の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電やショートして発火することがあります。



お手入れは冷めてから行う。
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



本体を持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持つ。
落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。



接触禁止

蒸気口や湯注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしない。
やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後、本体など高温部に触れない。
やけどの原因になります。湯が沸いたときの本体表面は、約80℃になります。



接触禁止

ふたを開けるときに出る蒸気に触れないように注意する。
やけどの原因になります。



備長炭などの炭を入れて使わない。
故障の原因になります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに
必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。



空だきをしない。
容器の熱変色など故障の原因になります。



本体は電源ベースの中央にしっかり載せる。
転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因になります。

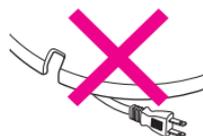
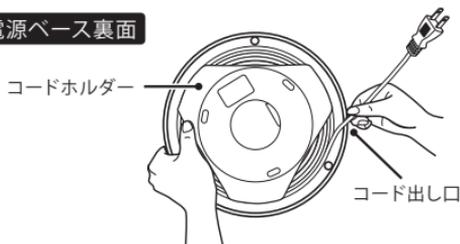


本体やハンドルに水をかけたり、流し台に置いて底面をぬらしたりしな
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因になります。

使用上の注意とお願い

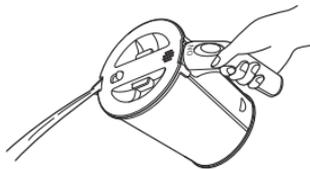
- 電源コードは、コードホルダーに巻きつけて長さを調整し、電源ベースのコード出し口にはめ込んでください。

電源ベース裏面



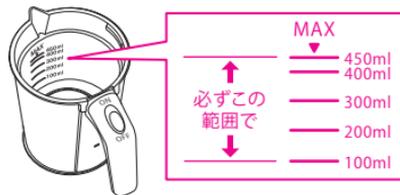
傾いて転倒の原因になったり、電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

- 残り湯は捨ててください。



放置すると変色・腐食の原因になります。

- 最小目盛(100ml)から満水目盛(450ml)の範囲で湯を沸かしてください。



最小目盛未満だと空だし防止機能がはたらいて電源スイッチが切れたり、満水目盛以上だと湯があふれて、やけどや故障の原因になります。

- 本製品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

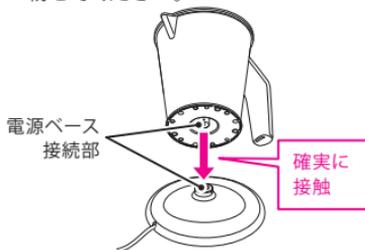


- 本体容器部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。



汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

- 本体は電源ベースの中央にしっかり載せてください。



接続部を確実に接触させないと、電源スイッチを「ON」にしても通電しません。

- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

お願い

きちんとセットしても動作しないときは、使用を中止して、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」までご相談ください。

各部の名称とはたらき

ふた・本体

A ふた

B 給湯ロックボタン

C ふた着脱つまみ

D 蒸気口

E 本体

F 湯注ぎ口

G 電源スイッチ

湯沸かし完了すると、
自動的に「OFF」になります。

H ハンドル

I 電源ランプ

湯沸かし中：点灯。
湯沸かし完了：消灯。

電源ベース

J 電源ベース

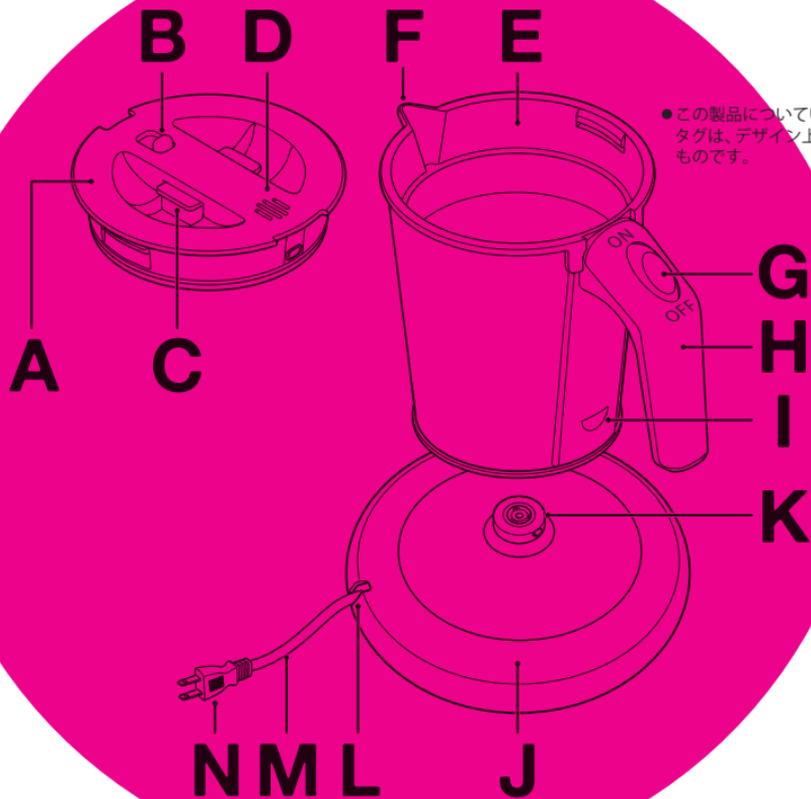
K 電源ベース接続部

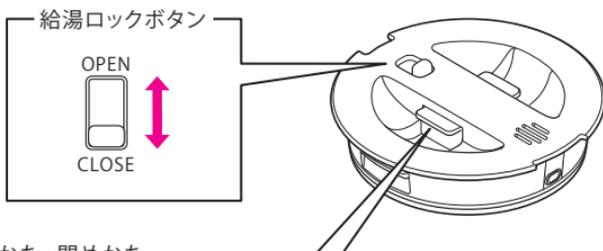
L コード出し口

M 電源コード

N 電源プラグ

- 本製品は、本体と電源ベースの分離式になっています。
本体を電源ベースに載せて電源スイッチ「ON」にしないと通電しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置（空だき防止機能）がはたらいて、電源が自動的に切れます。

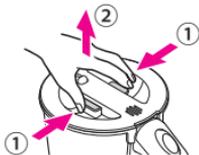




ふたの開けかた・閉めかた

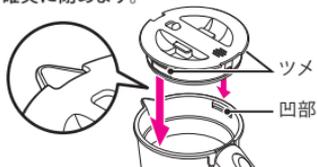
〈開けかた〉

ふた着脱つまみを指ではさみながら開けます。



〈閉めかた〉

左右のツメが「カチッ」と音がするまで、確実に閉めます。



お願い

- この製品は湯を沸かすためのものです。水以外は沸かさないでください。
- この製品は火にかけられません。直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、電子レンジなどで使わないでください。
- 湯を沸かすときは、必ずふたをしっかり閉めてください。

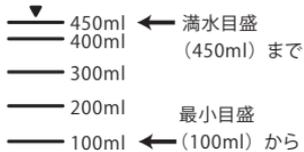


本体容器

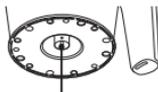
水以外は入れないでください。

〈水位目盛〉

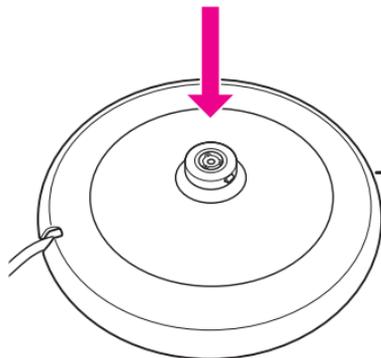
MAX



本体底面



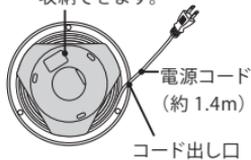
本体接続部



電源ベース裏面

コードホルダー

電源コードを巻きつけて
収納できます。

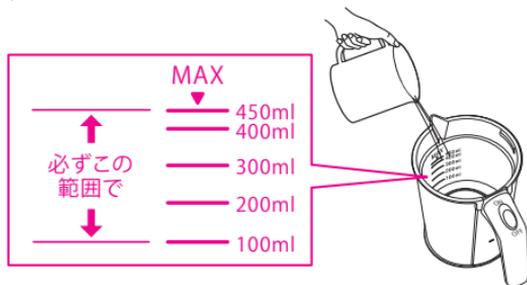


使いかた

- 初めて使うときは、事前に本体内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- 初めて使うときは、湯がにおうことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になるときは2～3回沸とうさせた後、湯を捨ててください。

1 ふたを開けて本体容器に別の容器で水を入れ、ふたを閉めます。

- 本体を電源ベースからはずし、別の容器で水を必要な量(100ml～450ml)だけ入れます。ふたをしっかりと閉めます。



⚠ 注意

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 本体やハンドルに水をかけたり、流し台に置いて底面をぬらしたりしないでください。

空だき防止機能について

水が入っていない状態で電源スイッチを「ON」にすると、空だき防止機能がはたらいて自動的に電源が切れます。この場合は電源スイッチを「OFF」にして本体を電源ベースからはずし、しばらく冷ましてからお使いください。

2 本体を電源ベースに載せます。

- ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。
ふたをしっかりと閉めないで、沸とうしても電源スイッチが「OFF」になりません。
- 電源ベースは水平に設置してください。

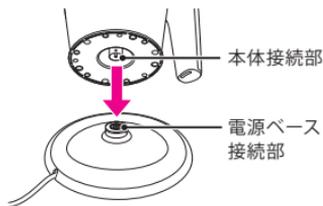


- 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

- 給湯ロックボタンが「CLOSE」になっていることを確認してください。

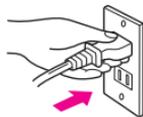


- 電源ベース接続部と本体接続部を合わせてセットします。
セットされていないと電源が入りません。



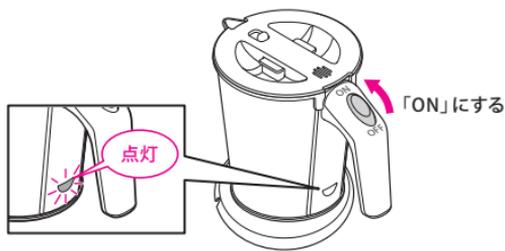
3 電源プラグを接続します。

電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。



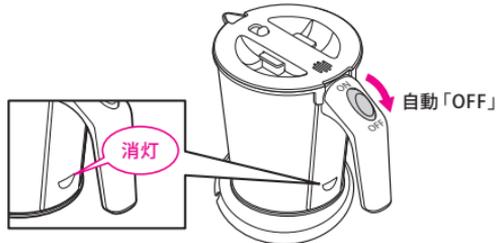
4 電源スイッチを「ON」にします。湯が沸いて、電源スイッチが「OFF」になります。

- 電源スイッチを「ON」にします。
電源ランプが点灯します。



↓ 湯が沸くと

- 湯が沸くと自動的に電源スイッチが「OFF」になります。
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消灯します。)

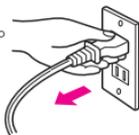


- 水が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。
- 保温機能はありません。湯沸かし完了後放置すると、湯は冷めます。
必要なときに必要な量だけを沸かしてください。

湯沸かし時間 の目安 (23℃の水)	450ml	約240秒
	300ml	約160秒

- 湯沸かし中に電源を切りたいとき：電源スイッチを「OFF」にします。
- 連続して使用したいとき：数分間、冷ましてから電源スイッチを「ON」にします。

5 電源プラグをコンセントから抜きます。

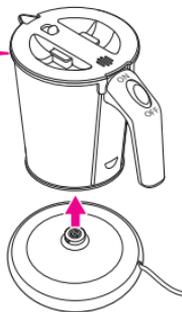


6 湯を注ぎます。

ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
本体を、電源ベースからはずします。
給湯ロックボタンを操作して湯を注ぎます。

ふたがしっかりと
閉まっているか確認

注ぐとき	注ぎ終わったら
 <p>OPEN の 方向へ スライド させる</p>	 <p>CLOSE の 方向へ スライド させる</p>



7 使用後は

残り湯を捨てて、本体容器内を空にしてください。

お願い

- 本体容器に湯を残さないでください。放置すると変色・腐食・においの原因になります。
- ご使用後はお手入れをしてください。
- 本体容器はこまめにお手入れをしてください。

お手入れのしかた 日常こまめにお手入れをしてください。

お手入れは、必ず電源プラグを抜き、残り湯は捨て、製品が冷めてからしてください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、漂白剤、化学ぞうきん、たわしなどは使わないでください。

本体外側・ふた・電源ベース

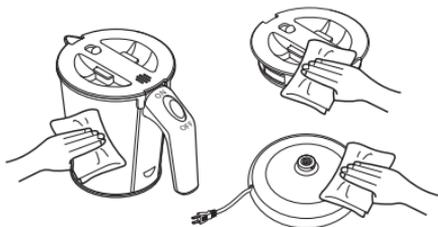
よくしぼったふきんなどでふき取ります。



水につけたり、水をかけたりしないでください。

警告

ショート・感電の恐れがあります。



本体容器

容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、水ですすぎます。

お願い 本体外側やハンドル部に水をかけないでください。



- 容器の変色やにおいの原因になるので、残り湯はすべて、こまめにお手入れしてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル分を多く含む水）を沸かしたときは、ミネラル分が付着しやすいため、よりこまめにお手入れしてください。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸で洗浄してください。 → **P21**

ミネラル成分について

長く使用していると、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が容器に付着して次のようになることがあります。

- 白い浮遊物が浮く
- 乳白色、黒点、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

ミネラル成分がたまると、湯が出にくくなったり、湯沸かし中の音が大きくなる原因になります。付着したミネラル成分がはがれて、本体内の湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因になります。

長期間使わないとき

お手入れの後、本体容器や各部を十分に自然乾燥させてください。
虫やホコリなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管してください。

クエン酸洗浄のしかた (1~3ヶ月に1回が目安)

洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。

- 1 本体容器にクエン酸約6gを入れます。
- 2 水を満水目盛(約450ml)まで入れて沸かします。湯は入れないでください。
- 3 沸と後、約1時間放置します。1時間以上放置しないでください。
- 4 電源プラグとふたをはずして湯をすてます。
- 5 やわらかいスポンジで汚れをこすり落とし、よくすすぎます。
- 6 汚れが落ちにくいときは、再度クエン酸を入れて同じ操作をしてください。
- 7 クエン酸のにおいをとるために、水だけで通常どおりに再び湯を沸かし、ふたをした状態で湯をすてます。

お手入れのしかた つづき

パッキンの取り替えかた

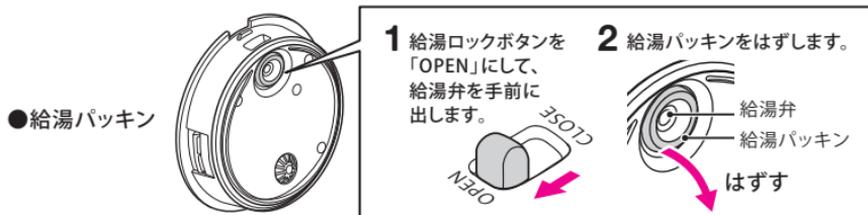
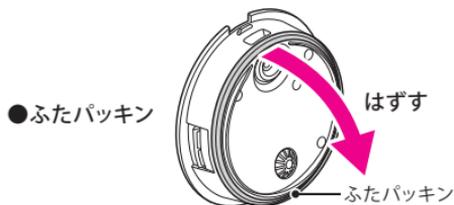
パッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

損傷している場合は、新しいパッキンと交換(有償)してください。

交換の際は、製品の品番をご確認のうえ、製造元「お客様サービス係」までパッキンをお求めください。

取りはずしかた

ふたからふたパッキンと給湯パッキンをはずします。

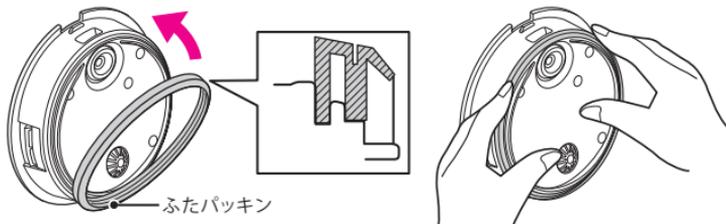


取付けかた

ふたに、ふたパッキンと給湯パッキンをはめ込みます。

●ふたパッキン

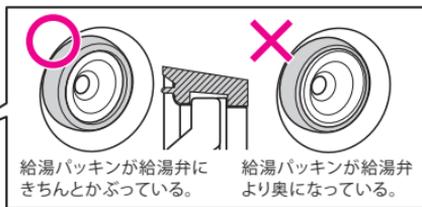
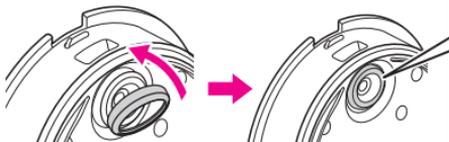
ふたパッキンは、外周がまんべんなく均等になるように押さえて、ふたの外周とふたパッキン内側の溝をぴったり密着させてください。



●給湯パッキン

1 給湯ロックボタンを「OPEN」にして、給湯弁を手前に出します。

2 給湯パッキンを取付けます。給湯パッキンをきちんと取付けていないと「OPEN」「CLOSE」ができません。

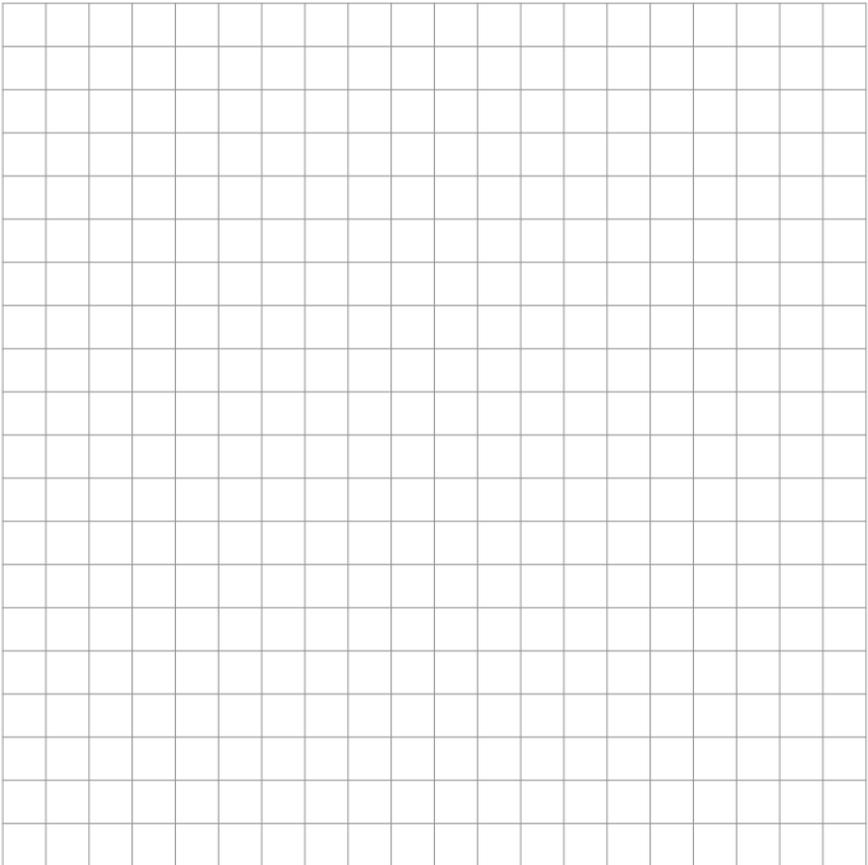


こんなときは

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

症状	調べるところ	処置
湯が沸かない。	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。
	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せていますか？	電源ベース接続部に、本体接続部をきちんと載せてください。 → P17
	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源ランプが点灯しない。	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せてください。 → P17
沸とうが止まらない。	ふたが閉まっていますか？ ふたがしっかり閉まっていないと沸とうしてもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。 → P14
	給湯ロックボタンが「OPEN」になっていませんか？	給湯ロックボタンを「CLOSE」にしてください。
沸とうする前に電源が切れる。	100mlに満たない水量で湯を沸かしていませんか？	よく冷ました後、最小目盛から満水目盛までの量の水を入れて、電源スイッチを「ON」にしてください。 → P16
	空だきしていませんか？ 空だき防止用の安全装置がはたらいて、電源が「OFF」になります。	本体を電源ベースからはずし、しばらく冷ました後、水を入れて電源スイッチを「ON」にしてください。
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る。	満水目盛を超える量の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 → P16

症状	調べるところ	処置
湯に白いものが浮く。 本体容器が汚れている。 壁面がはがれたように見える。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。→ P20
	ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。が有毒ではありません。	
湯沸かし時の音が大きくなる。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。→ P20
湯が出ない。 出にくい。	本体容器・湯注ぎ口・ふたパッキン・ 蒸気口に水アカなどが付いていませんか？	本体容器・湯注ぎ口・ふたパッキン・ 蒸気口のお手入れしてください。→ P20
使用後しばらくすると音がする。	熱せられた部品の冷める音です。 故障ではありません。	
ハンドルの下から水滴がたれる。	蒸気を感じて電源が「OFF」になる仕組みになっています。検知部に入った蒸気がハンドルの下から水滴となつてたれることがあります。が、故障ではありません。	
湯が臭う。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	初めて使うとき、しばらく使っていなかったときは樹脂などのにおいが移ることがあります。ご使用とともに少なくなります。	
	においが強いもののそばで使用・保管していませんか？湯ににおいが移ることがあります。	
	ビニールシートなどのナイロンの上で使っていませんか？湯ににおいが移ることがあります。	



アフターサービス

1. 保証書

- 保証書は本書の31ページに添付しています。
- 保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

本書（取扱説明書）の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

● 保証期間中の修理

保証書の規定により無料で修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」までお申し出ください。

● 保証期間が過ぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金
部品代	修理に使用した部品代金

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。



警告 お客様ご自身の修理は大変危険です。
分解したり手を加えたりしないでください。

お客様サービス係



0120-337-455

FAX(0256)93-1077

お電話承り時間：平日（月曜～金曜）
午前9時～午後5時

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

リインリート工業株式会社

仕様

電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	800W
容量	約 450ml
製品寸法(約)	幅 140mm × 奥行 200mm × 高さ 175mm (電源ベース含む)
製品質量(約)	820g (電源ベース部含む)
電源コード(約)	1.4m

- 特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくお避けください。
- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用の電気ケトルの点検を			
愛情点検 	ご使用の際このようなことはありませんか。	●水もれする。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷がついていたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする。●蒸気が10分以上出続け、電源スイッチが「OFF」にならない。●その他異常・故障がある。	ご使用中 故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

保証書について

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にしたがって正しいご使用のもとで故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間内に故障が発生したときは、本書と製品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (1) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障及び損傷。
- (2) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障および損傷。
- (3) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）で生じた故障、および損傷。
- (4) 本書のご提示がない場合。
- (5) 本書に、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- (6) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
- (7) ご使用によるキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
- (8) 消耗部品の交換。

2. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4. ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、製造元「お客様サービス係」へ、ご相談ください。

- お客様にご記入いただいた保証書（個人情報）は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にお問い合わせください。

電気ケトル 保証書

形名	AT-TP11	※お買い上げ日		保証期間
		年	月	日
※ お客様	ご住所	〒	☎	様方
	フリガナ ご芳名			様
※ 販売店	住所	〒		
	店名		☎	

※印欄にご記入のない場合有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。本書はお買い上げの日から上記期間中に、取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をお約束するものです。修理に際して本書をご提示ください。(詳細は左ページをご参照ください。)

修理メモ

●発売元

株式会社ビックカメラ

●製造元

ツインバード工業株式会社

修理サービスに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」へご相談ください。

お客様サービス係



0120-337-455

お電話承り時間

平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

FAX (0256) 93-1077 <http://www.twinbird.jp>

amadana は amadana 株式会社の登録商標
であり、ライセンスに基づき使用されています。

RX1703B